

令和5年度事業報告書

特定非営利活動法人ウィーログ

1 事業の成果

特定非営利活動法人ウィーログ第2期として、皆様のご支援・ご協力により、大変有意義な事業を行うことができました。

以下の通り、令和5年度実施の事業内容をご報告させていただきます。

・バリアフリーに関する情報発信事業

本事業のツールとなるバリアフリーマップ **WheeLog!**（以下、「アプリ」とする。）を保有する一般社団法人 **WheeLog** と、アプリを活用するための業務提携を行いました。その後、アプリの機能拡充及びバグの修正などを目的としたクラウドファンディングを実施し、その資金を用いて①食事支援(えんげ食)情報の対応、②**WheeLog!**の情報を Web 検索可能にする対応、及び③最新スマホへの対応を実施しました。さらに、翌年度以降のアプリの開発検討会議を実施しました。

そして、スペイン・カタルーニャ州政府観光局からの依頼により、バルセロナ観光の体験記を寄稿しました。これを機に翌年度以降の同観光局との共同企画の検討を行いました。

・バリアフリーに関する調査研究事業

当年度5月末にフィンランドのヘルシンキで開催された **MyData Conference** に参加しました。代表の織田友理子が「国境を越えたシームレスな公共サービス」がテーマのセッションに登壇して、アプリや事業内容を発表しました。また、ブースを出展し、参加者へのアプリのアピールに加えて、個人情報への厳しい規制が行われている欧州において、アプリの抱える課題や今後の展望など、有意義な議論をすることができ、ネットワークの構築もすることができました。

また、東京都にある公園の公園内の施設補修につなげるためのバリアフリー調査業務の依頼を受け、アプリを活用しながら同公園におけるバリアフリー面での課題と改善策の提案等を行いました。

国土交通省の歩行空間の移動円滑化データワーキンググループの構成員として参画し、歩行空間ネットワークデータ等整備仕様等に対して意見を述べるとともに、シンポジウムに登壇するなどして、車いす利用者として、またアプリの開発者として、国の政策に貢献することができました。

・バリアフリーに関する研修教育事業

企業や教育機関に対して、車いす体験とアプリを活用した研修イベントを実施しました。その内の1つの研修イベントでは、全国15都市の会場をオンラインでつなぎ、500名以上の社員の方々にご参加いただき、バリアフリー情報691件が投稿されました。参加者からはバリアフリー情報の重要性への理解が深まったとの感想等、心のバリアフリー醸成の面で大きな反響がありました。また、フィンランドの首都ヘルシンキで、初の海外での街歩きイベントを実施しました。世界にアプリを広げて行くための大きな一歩となりました。

そして、翌年度以降に研修の実施を希望する企業等との研修内容の検討を行いました。

・バリアフリーに関する普及啓発事業

バリアフリーに関する講演やイベント登壇及び取材依頼等を多く受けることができました。また、当年度のアプリの機能として食事支援(えんげ食)情報の対応を実施したことを発端として、摂食・嚥下障害についての理解を深める目的で、関連団体と共同して試食体験やとろみ食の調理実演を交えたイベントを開催しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 12,862,954 】円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(円)
バリアフリーに関する情報発信事業	①アプリ開発資金調達及びアプリ開発 ②海外観光情報発信	①6月~3月 ②10月~12月	オンライン	9名	障害者や高齢者などの移動困難者	約200万人	8,934,288
バリアフリーに関する調査研究事業	①国際会議への出席 ②公園のバリアフリー調査	①5月~6月 ②12月~3月	①ヘルシンキ ②東京	7名	障害者や高齢者などの移動困難者	約200万人	2,673,008
バリアフリーに関する研修教育事業	①街歩きイベント及び研修の開催 ②次年度の計画策定	①7月、10月、1月、3月 ②1月~3月	東京 大阪	5名	会社員 学生	約700人	534,313
バリアフリーに関する普及啓発事業	①講演活動 ②イベント開催 ③取材対応	①10月 ②12月 ③10月	東京	5名	障害者や高齢者などの移動困難者	約200万人	721,345